

日出町告示第82号

平成24年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成24年11月30日

日出町長 工藤 義見

- 1 期 日 平成24年12月6日
- 2 場 所 日出町議会議事堂

開会日に応招した議員

土田 亮治君	池田 淳子君
藤井 博幸君	工藤 健次君
安部 三郎君	田原 忠一君
森 昭人君	後藤 佑君
白水 昭義君	佐藤 隆信君
熊谷 健作君	佐藤 二郎君
城 美津夫君	佐藤 克幸君
笠置 久夫君	佐野 故雄君

12月10日に応招した議員

12月21日に応招した議員

応招しなかった議員

なし

平成24年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成24年12月6日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成24年12月6日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 承認第7号 平成24年度日出町一般会計補正予算(専決第3号)について

日程第7 議案第68号 平成24年度日出町一般会計補正会計(第4号)について

日程第8 議案第69号 平成24年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第9 議案第70号 平成24年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

日程第10 議案第71号 平成24年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第11 議案第72号 平成24年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

日程第12 議案第73号 日出町プロポーザル審査委員会条例の制定について

日程第13 議案第74号 日出町税条例の一部改正について

日程第14 議案第75号 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第76号 日出町暴力団排除条例の一部改正について

日程第16 議案第77号 町道の廃止について

日程第17 議案第78号 町道の認定について

日程第18 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦について

日程第19 同意第5号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

提案理由の説明

## 散会の宣告

### 本日の会議に付した事件

#### 開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

#### 質疑・討論・採決

日程第6 承認第7号 平成24年度日出町一般会計補正予算（専決第3号）について

日程第7 議案第68号 平成24年度日出町一般会計補正会計（第4号）について

日程第8 議案第69号 平成24年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

日程第9 議案第70号 平成24年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について

日程第10 議案第71号 平成24年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第11 議案第72号 平成24年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

日程第12 議案第73号 日出町プロポーザル審査委員会条例の制定について

日程第13 議案第74号 日出町税条例の一部改正について

日程第14 議案第75号 証人等の実費弁償に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第76号 日出町暴力団排除条例の一部改正について

日程第16 議案第77号 町道の廃止について

日程第17 議案第78号 町道の認定について

日程第18 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦について

日程第19 同意第5号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

#### 提案理由の説明

#### 散会の宣告

出席議員（16名）

1番	土田 亮治君	2番	池田 淳子君
3番	藤井 博幸君	4番	工藤 健次君
5番	安部 三郎君	6番	田原 忠一君
7番	森 昭人君	8番	後藤 佑君
9番	白水 昭義君	10番	佐藤 隆信君
11番	熊谷 健作君	12番	佐藤 二郎君
13番	城 美津夫君	14番	佐藤 克幸君
15番	笠置 久夫君	16番	佐野 故雄君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長 工藤都四男君 次長 安田加津浩君

説明のため出席した者の職氏名

町長 .....	工藤 義見君	副町長 .....	堀田 義人君
教育長 .....	石尾 潤治君	会計管理者 .....	酒井 保彦君
総務課長 .....	木付 尚巳君	財政課長 .....	高倉 伸介君
政策推進課長 .....	越智 好君	契約検査室長 .....	川野 敏治君
税務課長 .....	脇 英訓君	住民課長 .....	利光 隆男君
福祉対策課長 .....	原田 秀正君	健康増進課長 .....	河野 王見君
生活環境課長 .....	佐藤 寛爾君	商工観光課長 .....	河野 晋一君
農林水産課長 .....	村井 栄一君	都市建設課長 .....	川西 求一君
上下水道課長 .....	村岡 政廣君	農委事務局長 .....	野上 悟君
教育委員会教育総務課長 ...	宇都宮敏樹君	教育委員会学校教育課長 ...	清家 健志君
生涯学習課長 .....	宮本 洋二君	代表監査委員 .....	阿部 長夫君
監査事務局長 .....	小野裕一郎君	総務課参事 .....	大塚 一路君
財政課長補佐 .....	帯刀 志朗君		

午前10時00分開会

議長（佐野 故雄君） 皆さん、おはようございます。平成24年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり、一言御挨拶申し上げます。

議員各位におかれましては、何かと御多用のところ出席を賜り、まことに御苦労に存じます。今期定例会に提案されています議案につきましては、後ほど説明がありますが、承認1件、議案11件、諮問1件、同意1件の議案14件が提出されております。議員各位には慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたしまして、挨拶いたします。

#### 開会、開議の宣言

議長（佐野 故雄君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、平成24年第4回日出町議会定例会を開会いたします。

これより、本日の会議を開きます。

#### 日程第1．会議録署名議員の指名

議長（佐野 故雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、3番、藤井博幸君、12番、佐藤二郎君を指名します。

#### 日程第2．会期の決定

議長（佐野 故雄君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、先月30日の議会運営員会において、本日から12月21日までの16日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（佐野 故雄君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月21日までの16日間と決定しました。

#### 日程第3．諸般の報告

議長（佐野 故雄君） 日程第3、諸般の報告。

大分県町村議長会主催の研修会について報告いたします。

去る10月11日、姫島村離島センター「やはず」において行われました議員研修会は、姫島村の藤本昭夫村長から「一島一村のよさを生かした村づくり」と題して、スライドを使って村内の歴史や観光について詳しく説明いただき、その後バスで村内を見学し、夜には4町村の議員が

一同に会して懇親会を行い、盛會に終了することができました。心からお礼を申し上げます。

次に、11月14日に行われました、第56回町村議長会全国大会がNHKホールにおいて開催され、玖珠町、九重町の議長とともに出席しましたので、その概要について報告いたします。

大会は、全国の関係者約1,700人が出席する中、「真の分権型社会の実現を目指して」をメインテーマに事務総長の司会により開幕し、国歌斉唱の後、高橋正全国町村議長会、議会議長会会長が挨拶に立ち、被災地の再生と景気回復のための迅速な対応をお願いすること、更なる地方分権改革を強力に進めること、強制合併につながる道州制や、町村の存在を否定するような道州制については、引き続き頑固反対するとゆくこと等を訴えました。

来賓祝辞では、内閣官房副長官、衆議院議長、参議院議長、総務大臣ほか多数の御祝辞をいただきました。来賓祝辞の後、議事に入り、東日本大震災からの復興及び大規模災害対策の確立に期するなど16項目に及ぶ内容の決議1件、東日本大震災から早期復興に関する特別決議を初めとする特別決議4件、一般要望24件、各地区要望9件などが提案されました。決議、要望は満場一致で採択され、大会を終了いたしました。

大会終了後、東京大学名誉教授新野直彦氏から、「地方財政の現状と課題」と題して特別講演があり、充実した大会でありました。

次に、平成24年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員、笠置久夫君に報告をお願いします。15番、笠置久夫君。

議員（15番 笠置 久夫君） 平成24年第2回別杵速見地域市町村圏事務組合議会定例会の御報告を申し上げます。

去る11月1日に開会されました平成24年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を御報告申し上げます。

別府市市議会議事堂におきまして、午前10時から本会議が開会され、今期上程されました議案は、議第10号平成24年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合特別養護老人ホーム広寿苑事業特別会計補正予算（第1号）、議第11号平成23年度別杵速見地域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について、議第12号管理者専決処分について及び議題13号管理者専決処分について、並びに議第14号管理者専決処分について、議第15号監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて、以上6議案でございました。

議案第10号平成24年度別杵速見地域市町村圏事務組合特別養護老人ホーム広寿苑事業特別会計補正予算（第1号）では、歳入歳出予算にそれぞれ3,643万8千円を追加し、総額で4億5,935万2千円としております。

歳入では、繰越金3,643万8千円の追加計上で、これは地方自治法第233条の2の規定により、平成23年度決算上の剰余金を繰越金として平成23年度歳入予算に編入した追加額で

ございます。

歳出では、諸費の基金積立に3,643万8千円の追加計上で、これは地方財政法第7条の規定により、平成23年度決算上の剰余金を財政調整基金に積み立てるための追加額であります。

議第11号平成23年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定については、一般会計では、予算現額12億9,600万円に対しまして、歳入決算額12億5,319万3,618円で、歳出決算額12億5,319万3,618円となっており、歳入歳出差額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円でございます。

次に、特別養護老人ホーム広寿苑事業特別会計ですが、予算現額3億891万1千円につきましては、歳入決算3億1,847万1,754円、歳出決算額2億8,203万3,101円となっており、歳入歳出差引額は3,643万8,653円となり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額は同額であります。

次に、秋草葬斎場事業特別会計ですが、予算現額8,220万円に対しまして、歳入決算額8,006万459円、歳出決算額8,006万459円となっており、歳入歳出差額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円となっております。

次に、藤ヶ谷清掃センター事業特別会計ですが、予算現額22億6,131万2千円に対しまして、歳入決算額22億3,054万9,051円、歳出決算額22億3,054万9,051円となっており、歳入歳出差引額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円となっております。

最後に、介護認定審査会の事業特別会計ですが、予算現額3,200万円に対し歳入決算額2,732万495円、歳出決算額2,732万495円となっており、歳入歳出差引額はゼロ円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため実質収支額はゼロ円となっております。

議第12号管理者専決処分についてから議題14号管理者専決処分については、職員が公用車を運転していて別府市上人ヶ浜9組付近の国道10号の片側3車線の右側を南進中、前方で右折待ちのため停車していた車列に気づくのが遅れたため、前車2台に玉突き衝突し、前車を損傷させ、前車の同乗者が負傷した事故の和解及び損害賠償の額の決定について、地方自治法第96条第1項第12号の及び第13号の規定により議決事件ですが、地法自治法第179条第1項の規定により、管理者において専決処分したため同条第3項の規定により、議会の承認を求めたものであります。

以上、5議案は、福祉、環境衛生の各委員会審査を得て、議第10号は全員異議なく可決、議第11号は賛成多数により認定、議第12号、議題13号及び議第14号は、全員異議なく承認されました。

議第15号は、別杵速見地域広域市町村圏事務組合監査委員に都甲雅弘氏を選任することによ

り、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求めたものであります。委員会付託、討論を省略し採決を行った結果、全員異議なく同意を与えることに決定いたしました。

以上、簡単ですが、平成24年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告を終わります。

議長（佐野 故雄君） 次に、平成24年第2回杵築速見消防組合議会定例会の概要について、同組合議会議長、白水昭義君に報告をお願いします。9番、白水昭義君。

議員（9番 白水 昭義君） 杵築速見消防組合議会の御報告をいたします。

去る11月26日、平成24年度第2回杵築速見消防組合議会が開催されましたので、その概要を御説明申し上げます。

まず、議案第4号平成23年度杵築速見消防組合歳入歳出決算についてであります。

歳入総額11億1,162万9,768円に対しまして、歳出総額10億4,752万6,528円であり、6,410万3,240円が実質収支額となっております。歳入の84.1%が杵築市日出町からの負担金で、日出町の負担金は3億9,037万4千円となっております。

歳出の主なものは、議会費80万1,059円、総務費に10億3,551万5,669円の支出で、職員の人件費、物件費及び退職手当積立金が主なものであります。

次に、議案第5号平成24年度杵築速見消防組合補正予算（第2号）についてであります。

今回の補正は、新庁舎にかかわる事業費、役務費及び負担金補助及び交付金並びに積立金の増が主なもので、補正額は6,410万3千円の増額で、補正後の予算の総額を9億7,851万6千円とするものであります。

主な内容は、一般管理費の需用費において光熱費、修繕費の不足分90万円及び役務費の通信運搬費、手数料の不足分170万3千円、並びに負担金補助及び交付金において防災無線情報伝達体制整備にかかわる負担金350万円、積立金として退職手当基金積立金5,800万円を追加計上したもので、その財源は繰越金であります。

次に、議案第6号杵築速見消防組合情報公開条例の制定についてであります。

この条例は、杵築市の条例を準用し、杵築速見消防組合において条例を制定するものであります。

次に、議案第7号杵築速見消防組合個人情報保護条例の制定につきましても、杵築市の条例を準用し、杵築速見消防組合において条例を制定するものであります。

次に、議案第8号杵築速見消防組合火災予防条例の一部改正についてであります。

電気自動車の急速充電設備について、対象火災設備等の対象として追加するとともに、急速充電設備に設置する際の位置、構造及び管理に関する条例の制定基準を新たに定めるものであります。

以上、決算議案、予算議案 1 件及び条例議案 3 件、全て全会一致で可決であります。

最後に、報告第 1 号専決処分の承認についてであります。

今回の専決については、消防職員採用事件にかかわる問題等を、調査委員会を開催するための費用 6 4 万 9 千円を計上したもので承認であります。

以上、平成 2 4 年度杵築速見消防組合議会第 2 回定例会の報告といたします。

議長（佐野 故雄君） 次に、平成 2 4 年第 2 回杵築速見環境浄化組合議会定例会の概要について同組合議会議員、後藤佑君に報告を願います。8 番、後藤佑君。

議員（8 番 後藤 佑君） 平成 2 4 年第 2 回杵築速見環境浄化組合議会定例会の報告を申し上げます。

去る 1 1 月 2 7 日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を報告申し上げます。

本定例会に上程されました案件は、承認 1 件、認定 1 件、議案 3 件であります。

まず、承認第 1 号平成 2 4 年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（専決第 1 号）についてであります。

この補正予算は、既定予算額の組みかえでありまして、議会議員の公務災害の認定により一般管理費の災害補償費 1 9 3 万円を増額し、清掃施設費の需要費より 1 9 3 万円を減額いたしました。

次に、認定第 1 号平成 2 3 年度杵築速見環境浄化組合会計歳入歳出決算の認定についてであります。

収入済額 3 億 3, 4 8 4 万 6 8 4 円に対し、支出済額 3 億 3, 0 2 0 万 6, 0 5 3 円であります。収入済額から支出済額を差し引いた実質収支額は 4 6 3 万 4, 6 3 1 円で、その全額を翌年度に繰り越すものであります。また、監査委員から予算執行、決算経理とも適切、妥当に事務処理されている旨の審査報告がありました。

次に、議案 5 号杵築速見環境浄化組合議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正についてであります。

執行機関たる委員会の委員を設置したのにもない、所要の改正を行うものであります。

次に、議案第 6 号杵築速見環境浄化組合し尿処理施設に関する条例の一部改正についてであります。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正により、一般廃棄物の技術管理者の資格基準を整備するものであります。

次に、議案第 7 号平成 2 4 年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（第 2 号）についてであります。

補正額は 4 3 3 万 3 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を 2 億 1, 6 3 3 万 3 千円とするもの

であります。この補正は、施設機器等の点検修理が主なものであります。

また、債務負担行為として平成25年度に行う設備改造工事の限度額を5億5,360万円と定めるものであります。

以上、上程されました承認1件、認定1件、議案3件につきましては、審議の結果全員一致で原案のとおり承認、認定、可決いたしました。

これをもちまして、甚だ簡単ではございますが、平成24年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の報告を終わります。

議長（佐野 故雄君） 以上で、諸般の報告を終わります。

#### 日程第4．行政報告

議長（佐野 故雄君） 日程第4、行政報告を行います。町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） おはようございます。本日、平成24年第4回日出町議会定例会を開催するに当たりまして、御通知申し上げましたところ、議員の皆様には何かと御多忙中のところ御出席を賜り、御審議をいただきますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

それでは、行政報告を申し上げます。

まず、コミュニティバスの出発式についてであります。

議長、副議長をはじめ多くの方々の出席をいただき、10月1日にコミュニティバスの出発式をとり行うことができました。

これまで、公共交通空白地区解消のため、日出町生活交通確保維持協議会を発足させ、住民アンケートや公共交通利用者へのヒアリング、公共交通利用者への聞き取り等を各種調査を行い、これらの公共交通施策の指標となる日出町のネットワーク計画を3月に策定し、運行の準備を行ってまいりました。

運行状況といたしましては、月曜日豊岡線、火曜日藤原赤松線、水曜日藤原一北線、木曜日川崎線、金曜日大神線の各路線を10人乗りの車1台を購入し、日替わりで1日2往復の運航を行っております。

また、今まで南端小・中学校のスクールバスの空き時間を利用しておりました路線についても、広域農道経由の路線を新たに設け運行することにいたしました。これは、本運行に向けての試験運行であります。

今後は、利用状況や住民の要望等を聞きながら、町民の足となるよう路線時刻表の見直しを行っていきたいと考えております。

次に、第7回「ザビエルの道」ウォーキング大会についてであります。

キリスト教の宣教師フランシスコ・ザビエルが通ったとされる古道をたどる第7回「ザビエル

の道」ウォーキング大会を10月21日に開催いたしました。本大会は、フランシスコ・ザビエルに由来する景観美豊かな史跡コースを利用して、自然と歴史の触れ合いを体験しながら健康増進につなげることを目的として、平成18年に始まり今回で7回目を迎えました。健康志向の高まりやウォーキングブームの浸透により、毎回多くの皆様方に御参加をいただき、ウォーキングで汗を流しながら、日出町の自然や歴史を楽しんでいただいております。

当日は、幼児から高齢者まで、福岡県を初め県内外から563名の参加があり、それぞれの体力に合わせて5キロコース、10キロコース、20キロコースを歩き、さわやかな汗を流しました。

大会に協賛いただきました町内外の企業、事業所の方々にお礼を申し上げますとともに、大会運営に御尽力をいただきました実行委員会の皆様を初め、NPO法人、ボランティア団体、婦人会、商工会青年部のスタッフ約100名の皆さんに心より感謝申し上げます。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

文化の日の11月3日、中央公民館におきまして、永年にわたり日出町の振興と発展に尽力された方々の御功績に敬意と感謝の意を表するため、日出町功労者表彰式を行いました。

今年は、福祉、地域振興、産業振興、観光振興の各部門で、個人4名、2団体の方へ表彰状と記念品をお送りしました。

次に、2012ひじ文化まつりについてであります。

日出町中央公民館及びその周辺において、11月3日4日の両日にわたり、2012ひじ文化まつりを開催いたしました。秋晴れのもと芸能大会や体育館での優れた技術工芸作品展、屋外では菊花展が開催されるなど多くの観覧者で終日にぎわいました。

また、ひじ文化まつりのメイン行事の一つになりました滝廉太郎記念音楽会も今年で11回目を数えることとなり、特に今年は日本音楽コンクールピアノ部門で優勝された伊藤伸氏を迎え、迫力あるピアノ演奏を披露していただきました。回を重ねることにより、日出町にゆかりある滝廉太郎の功績をたたえ、遺徳をしのぶことができました。

次に、日出町ふるさと親善大使の委嘱式についてであります。

11月12日、九州で代表される新聞社株式会社西日本新聞の相談役として活躍されています、日出町豊岡出身の多田昭重氏77歳、福岡市在住の方を日出町ふるさと親善大使に委嘱しました。

ふるさと親善大使は、町外において、いろいろな分野で活躍されておられる町出身者にふるさとの魅力をPRしてもらおうと平成18年から始めたもので、今回で5人目となります。

多田昭重氏は昭和10年日出町で生まれ、18歳まで日出町におられました。昭和32年に早稲田大学文学部を卒業され、同年4月に西日本新聞社に入社されました。パリ特派員、東京支社長、編集局長を経て、平成13年6月に社長、20年6月に会長、22年6月に相談役となられ、

日本全国はもとより世界各国において新聞記者として活躍され、会社のトップまでになられた方  
であります。同氏の今後、ますますの御活躍をお祈りいたしますとともに、いろいろな機会を通  
じて日出町のPRも合わせてお願いするものであります。

次に、日出町福祉健康推進大会についてであります。

11月13日、中央公民館におきまして、第7回日出町福祉健康推進大会を関係者約280名  
の出席のもと開催いたしました。少子化、高齢化が進む中、いつまでも健康でだれもが住みよい  
まちづくりを進めるために、町と社会福祉協議会、老人クラブ連合会の共催で開催いたしました。

大会では、ダイヤモンド婚、金婚、在宅介護賞、子育て大賞、福祉功労賞、健康賞、健康づく  
り功労賞などの表彰の後、安全・安心に、そして豊かに暮らせる社会の実現を願い、一人一人が  
地域づくりに参加し、住民、ボランティア、NPO、福祉団体、社会福祉事業者、企業、行政な  
どが協働して地域見守りネットワークを形成し、地域福祉の推進に努めていくとする大会宣言が  
採択されました。

また、別府口腔保健センター所長であり、歯学博士であります黒川英雄氏による「食べること、  
生きること」の講演で、記念講演会も行われました。健康で生活することには、歯の役割が大切  
であることなど、健康の維持管理についてのお話をいただきました。

受賞された方々のますますの御健康、御活躍を御祈念する次第であります。

次に、第25回ひじ産業まつりについてであります。

11月23日に中央公民館を主会場として開催いたしました。屋外会場では、例年好評いただ  
いております、イノシシ肉を使ったしし鍋コーナーや、新たに漁協日出支店八モの会による日出  
の八モを使った無料試食会を開催いたしました。合わせて苗木の無料配布や日出町産の新鮮な野  
菜、海産物の直売コーナーを初め、餅つき等の実演販売が行われ、多くの方々でにぎわい大変な  
盛況でありました。

また、体育館においては、町内の企業の紹介コーナーや体験コーナー等を設け、一方ステージ  
では、農業、商工業部門の功労者の表彰や日出町親善大使であります河内明美さん、速水映人さ  
んによるショーなどで盛り上がりました。

当日は1万500人の入場者が訪れ、終日にぎわいを見せました。ひじ産業まつりの開催にか  
かわった関係者の方々の御協力に感謝申し上げます。

また、このひじ産業まつり開会式のテープカットに引き続き、宮城県亘理町への支援物資輸送  
出発式をとり行いました。

今回で2回目の支援物資の輸送となりますが、軒ノ井生産組合に委託して生産しましたモチ米  
と、八代区より寄贈いただきました米、合わせて3.2トン日出町が購入した温州ミカンと、J  
Aべっぴ日出より寄贈を受けました温州みかんを合わせて約1,500キログラム、公民館和裁

教室メンバー手づくりの綿入れはんてんを42着お送りいたしました。

また、東日本大震災被災者日出町支援の会へ寄せられました支援金50万円を出発式とは別に、11月の議会運営委員会視察研修先でもあります亘理町を視察した際に、寄贈しております。

また、輸送トラックの現地到着に合わせて町職員2名と生産者の代表1名を現地に派遣し、亘理町の齋藤邦男町長へ直接支援物資等の目録を手渡しをいたしました。報告によりますと、現地の様子は荒れ果てた農地や住宅跡地が一面に広がり、また1,200世帯の方々がいまだ仮設住宅での生活を余儀なくされております。まだまだ先の見えない状況ではありますが、1日も早い復興をお祈りする次第であります。

次に、全国町村長大会についてであります。

11月21日、東京代々木NHKホールにおいて全国町村長大会が開催されましたので、これに参加いたしました。

大会は、全国町村会長の挨拶に始まり、来賓の野田佳彦総理大臣を初めとした各界の代表者から祝辞があり、冒頭の挨拶にたった全国町村会藤原会長からはTPP参加ではなく、農山漁村の再生、活性化が優先されるべきであり、また、道州制論議が再燃しているが、町村に大きな影響及ぼすとの提言がありました。大会では、環太平洋連携協定すなわちTPPへの参加や東日本大震災からの復興と全国的な防災減災対策の強化を初め、などを求める決議を採択いたしました。

この後、各参加団体ごとに実行行動に移り、政府関係者、関係国会議員に陳情活動を行いました。大分県町村会では県選出の参議院議員の事務所を訪ね、陳情活動を行い、解散をいたしました。

以上、甚だ簡単ではございますが、これまでの行政報告とさせていただきます。

議長（佐野 故雄君） 行政報告は終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告します。

#### 日程第5．委員長報告

議長（佐野 故雄君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成24年第3回定例会において、閉会中の審査に付されました所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務常任委員会委員長 佐藤克幸君。14番、佐藤克幸君。

総務常任委員長（佐藤 克幸君） 総務常任委員会の報告を行います。

閉会中の11月14日、午前10時より委員全員出席のもと関係課長に出席をいただき、委員会を開きました。

9月議会で承認をいただいております、防災対策と所管事務調査についての調査結果と、同

じく承認をいただいております。視察研修の報告を行います。

まず、日出町防災対策についてですが、今後30年以内で発生する確率が70%に及ぶといわれている東南海南海地震への各種防災関連事業について、説明を受けました。

まず、日出町防災行政無線整備事業については、平成22年度から着手し、23年4月1日から13基の運用を開始し、災害情報等を発信しており、また、緊急防災減災事業債を利用し、支局8基を整備する機器の発注済みで、平成29年度までに41基を設置の予定です。

次に、防災倉庫整備事業及び避難所設置整備事業については、平成23年に実施した学校倉庫の整備事業に続き、避難所7カ所に防災倉庫を設置し、大規模災害に避難所設置15カ所に、災害時用機材を整備し、資機材はカセット発電器、蛇腹式テント、アルミ製リアカー、災害救助用毛布等の配備を予定しているとのこと。

また、防災時養成事業及び自主防災組織育成事業については、防災士の養成を考え、既に8名が資格を取得しており、24年度前期分で13名が試験に合格し資格取得を申請中であり、24年度後期と25年度に別府市で防災士養成研修が行われる予定で町内各行政区から募集し、40人から50人に受講をしてもらいたい。また、取得に係る費用は町が補助するとのことであり。

次に、エリアメールの導入についてですが、平成23年12月から運用を開始し、NTTのみに利用にとどまっていたが、24年11月からauの携帯電話の利用が受けられ、残ったソフトバンクも同様のサービスが受けられるように準備を進めているとのこと。

防災マップ作成事業については、大地震や津波の被害想定を作成を国・県が進めており、ホームページ等で広く住民にわかりやすいように作成を進めており、また、避難場所案内板設置事業は、災害時避難所へ避難表示板を設置、避難所隣接に避難所への案内表示板を設置する予定とのこと。

委員より防災対策の事業として、避難訓練は沿岸部では全て実施しているのか、実施については区によって様々であり、危機意識も温度差があるようなので、沿岸部の連絡協議会的なものをつくり、危機意識の共有をしたらどうかとの意見が出されました。

以上が、防災対策についての報告です。

続き、所管各課より報告を受けました。

まず、財政課より、財政状況の報告と今後の見通しの説明があり、健全財政が保たれているとのことでした。

続いて、政策推進課より、コミュニティバスの10月分利用状況についての報告があり、利用にはばらつきがあるが、平均して1日当たり8.43人の利用者で予定の想定内とのことであり、また、国東観光の深江線では1日当たり8人の利用者があり、今までの2倍の利用状況で、ます

ます高齢化が進み運転免許証の返還等が進めば、利用者の増加が考えられるとのこととされます。

また、町が発注していた丸徳印刷が倒産しましたが、プリメディア印刷で対応ができ、町報は遅れることなく発刊ができたとの報告でありました。

次に、契約検査室より11月13日現在の報告がありました。契約件数62件、契約金額8億6,646万4千円で、進捗率は件数で41%、金額で81.5%の報告で、年度末に工事が集中しないように十分配慮したいとのこととあります。

最後に税務課より、12月定例会に提案される税条例の一部改正について、まず入湯税に関する条例の一部改正と、個人住民税の寄付金、税額控除の対象となる寄付金の範囲拡大に関する改正の説明を受け、閉会をいたしました。

次に、行政視察研修を10月24日から2泊3日で、静岡県吉田町と神奈川県二宮町で行いましたので、その概要について報告をいたします。

まず、吉田町については、防災対策と日曜開庁についての研修を行いました。

すばらしい財政力の町で、24年度当初予算で97億3千万円で地方交付税はわずか3億円でした。

また、町長が防衛庁のエリートの出身で、防災課の参事は国交省のエリートが出向しており、防災対策費の国・県からの補助金が24年度で20億円あり、いろいろなアイデア施設を計画しておられました。日出町では、その中の小さな活動しか参考になりません。

また、日曜開庁につきましては、平成15年4月に行われました吉田町町長選挙の選挙公約の事業で、その7月18日に第1回の日曜開庁検討委員会を始めて、7回の委員会で審議決定し、10月5日に第1回の日曜開庁が全業務で行われました。現在は、必要視されている8課80業務を行っているとのこととです。町民の評判は大変よいとのこととでした。

次に、二宮町での防災研修ですが、まず、議長の杉崎氏より歓迎の挨拶をいただきました。その中で、全国議長会長会でたまたま名刺交換をしたのが城前議長であり、平成20年安全・安心メールの視察に日出町に訪れておられ、縁を感じると暖かい歓迎を受け研修に入りました。

二宮町は海岸に接しているが、隣接町とは違い海拔は5メートル以上あり、予想される津波の高さは4メートルで地震発生から到達までの時間が3時間あり、阪神大震災では家、家具等の倒壊で犠牲者が出たことから、町長は一人の犠牲者も出さないように、その到達時間までの間に何ができるかを考え準備しているようでした。

また、日出町で廃止した安心・安全メールを活用し、不審者の出没、台風、竜巻等の情報を保護者に送ったりと色々な分野での活用をしているとのこととです。

その他、二宮町では、42自治区を20自治区に減らす大変難しい行革も行っておりました。

また、吉田、二宮、両町とも議会改革にも積極的に取り組んでおられ、議員定数については、吉田町が14名、二宮町が13名で頑張っておられました。

詳しくは、お手元に配布しております報告書にお見通してください。

以上で、総務常務委員会の閉会中の審査並びに視察研修の報告といたします。

議長（佐野 故雄君） 次に、産業建設常任委員会委員長 池田淳子君。2番、池田淳子君。  
産業建設常任委員長（池田 淳子君） 閉会中の産業建設常任委員会の報告をいたします。

去る11月13日、委員全員出席のもと町長ほか所管課長の出席を求め、都市再生整備事業について、所管各課の事務調査を行いました。

まず、商工観光課より「ザビエルの道」ウォーキング大会の結果と、的山荘の利用客増加がみられる旨の報告がありました。

的山荘については、観光バスによる団体がふえているとのことでした。

また、由布合成化学株式会社については、11月10日に工事が完成し250名体制でスタートしたとのことでした。採用状況は現在のところ12名程度で、そのうち町内からは4名との報告でした。

次に、農林水産課より、ひじ産業まつりの内容について説明を受けました。

また、鹿、イノシシの捕獲状況についての報告を受けました。

上下水道課からは、昨年、突然陥没した堀南浜線の工事が完了した旨の報告がありました。

農業委員会からは、耕作放棄地の解消への取り組みについての説明と、遊休農地を畑に戻すためサツマイモを植え、保育園児を招いて収穫を行ったとの報告がありました。

最後に、都市建設課より、暘谷駅周辺整備について、きょう現在までのJRとの協議内容の進捗状況と、今後のスケジュールについての説明がありました。現段階では、覚書の案を日出町側から要望し、JR側上層部との意思決定の場を設定し、年内には覚書を交わすよう進んでいるとのことでした。

また、大田公園に設置予定の複合遊具については、10月5日にプロポーザルの企画提案の審査を行い、タカオ株式会社に決定したとの報告がありました。

審査では、利用者である子どもや保護者の評価を取り入れるため、各幼稚園や小学生にアンケートを実施し、その結果も評価の一部としました。平成25年3月に工事完成し、同年4月から利用できるようにしていきたいとのことでした。

以上、甚だ簡単でございますが、閉会中の産業建設常任委員会の報告といたします。

議長（佐野 故雄君） 次に、社会厚生常任委員会委員長 工藤健次君。4番工藤健次君。  
社会厚生常任委員長（工藤 健次君） 社会厚生常任委員会の閉会中の事務調査等の御報告をいたします。

社会厚生常任委員会は、閉会中の10月29日に委員全員出席のもと執行部より教育長、生涯学習課長の出席を求め、行政視察研修のために事前研修委員会を開催いたしました。

まず、芝生化を実施した日出、川崎、大神、藤原の各幼稚園と安養寺グラウンドの状況を現地確認し、その後地域総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」の説明を受けました。11月7日から9日にかけて、先進地の地域総合型スポーツクラブの三重県いなべ市と学校芝生化事業の岐阜県瑞穂市への行政視察研修を行いました。

いなべ市は、地域総合型スポーツクラブの「元気づくりシステム」をブランド化しており、各自治体からの研修生の受け入れも行っています。日沖市長や大平事務局長から詳細な説明を受けました。平成14年からの取り組みでスポーツのみでなく、健康、介護予防事業にも力を入れており、他のクラブとは異なる点でした。利用料の支払いがあることなどから、住民の健康意識の高さが伺えます。

いなべ市の画期的な取り組みは時間をかけて作りあげてきたものであり、そのまま日出町で「元気づくりシステム」が導入できるわけではありませんが、各課が連携をして日出町の地域総合型スポーツクラブ「ひまわりのたね」を育て、健康づくりから医療費の削減までになるような特色のあるクラブにしていくべきと強く思いました。

瑞穂市は、市議会の広瀬副議長から歓迎の挨拶を受けた後、横山教育長の案内で西小学校、生津小学校、本田第2保育所の芝生化の状態を調査しました。

芝生化のメリットは転倒によるすり傷の減少や、周辺住宅への砂塵被害の防止、真夏のグラウンドの体感温度を下げ、ヒートアイランド化を緩和するなどの説明がありました。芝生化事業においては、適正な植えつけ時期の選択、適度の土壌改良と、学校や保護者、教職員による維持管理実施の約束により、芝生化を実施していることが大きな特色でありました。

芝生化成功の鍵は、適切な維持管理で、それを行政任せにしないで学校独自に行う体制ができている点で、これから芝生化を推進していく日出町にとっては大いに参考になりました。

詳細については、お手元に配布の行政視察研修会報告書のとおりです。

また、11月19日に町長、教育長のほか各課長の出席のもと委員会を開催しました。

教育総務課からは、豊岡小学校の本館改築工事後の今後のスケジュールについて、詳細な説明があり、25年5月末の完了予定であるなどの報告がありました。

給食センターの民間移行については、委員からの質問に「平成25年度以内には調理配達の部門を民間委託するように検討している」との回答でしたので、安全性の問題や責任体制をしっかりとるように指摘しました。

福祉対策課からは、認可外保育園こじか保育園が12月1日から定員30名で、日出の3902番地の22に新設で開園するなどの報告がありました。

健康増進課からは、認知症対策の今後についての説明があり、日出町では介護認定を受けている人の約4割に認知症が認められている。国が認知症のサポーターの要請をして、平成17年度末までに600万人の認知症サポーターをつくることや、認知症対応型通所介護の26年度開設を目指し、25年度に事業所選定をするなどの説明がありました。

最後に、生活環境課からは、藤原の産業廃棄物中間処理施設については、大分県から10月30日で関西方面からの廃棄物は全てを撤去し、今後は受け入れしない旨の報告があったとの説明がありました。

以上、甚だ簡単ですが、社会厚生常任委員会の報告を終わります。

議長（佐野 故雄君） 次に、議会改革調査特別委員会委員長 佐藤二郎君。12番、佐藤二郎君。

議会改革調査特別委員長（佐藤 二郎君） 議会改革調査特別委員会は、議会閉会中に継続調査であります委員会を、去る10月30日第8回として、11月27日第9回として、議会会議室において開会いたしましたので、その報告をいたします。

第8回は9月の調査、第7回に引き続き政策提案のできる仕組みづくりについて意見交換を行い、大分市議会の「子ども条例」を参考にどのような仕組み、またどのような課題があり提案までいったかについて、調査を行いました。その過程では、委員会の設置や作業部会の設置、全議員での検討会、議会議員としての勉強会、先進地の研修も必要ではないか等々の意見が多く出され、具体的な運びを実際に資料をもとに調査をすることといたしました。

第9回の調査では、第8回に検討した大分市の「子ども条例」を例題として、引き続き具体的に調査をさせていただきました。議会内に政策研究会なる部署より提案され、平成21年8月に具体的な調査、研究をするためのプロジェクトチームを立ち上げており、最終的には平成23年3月議会で可決成立をしております。

プロジェクトチームには、推進チームとして37回の会議を重ねておりました。また、正副議長及び会派団長の会議、役員会と称して11回を重ねております。全議員による全体会議といたしましては、7回の意見交換をしているようにございます。その他、市民意見交換会として2回、子どもに関する関係者との意見交換会も2回、先進地行政視察を5市行っております。大変なエネルギーと時間を割いて、協議、議論、説明、そして意見交換等を重ね、条例1本を提案したものでございました。

このように、人、物、予算と時間も多く必要としたようにございます。委員会は、この案件につきまして、更に深く調査をしていくことといたしております。

次に、当調査特別委員会は、この12月議会を目途に、調査終了の案件を議長へ委員会の決定事項として報告としておりましたので、全委員で確認後、以下3項目を11月30日に議長あて

に文書をもって中間報告をしたところであります。

その内容を御報告いたします。

1. 常任委員会組織の変更する所管の変更でございます。3 常任委員会を2 常任委員会に改める。

理由といたしましては、先の改選により予算常任委員会、決算特別委員会が設置され、各常任委員会に付託される議案が著しく少なくなったためでございます。

また、任期につきましては2 年とし委員長は1 年で交代をしてはどうか、適用は次期改選後より施行してはどうか、ということでございます。

また、所管各課を御報告いたします。

仮称「まちづくり委員会」といたしまして、総務課、財政課、政策推進課、契約検査室、税務課、会計課、監査委員事務局、農林水産課、都市建設課、上下水道課、農業委員会、生活環境課といたしました。

第2 委員会といたしまして、仮称「教育福祉委員会」として、住民課、福祉対策課、健康増進課、商工観光課及び教育委員会の各課でございます。

2 番目に政策提案をする仕組みづくりを行う。

理由といたしましては、議会及び議員は執行部のチェック機能を役割としております。更に、住民の意見を十分に議会で発揮するために、経験と研鑽を図り、町政に政策提案のできる議会であるべきであります。町民の負託に応え、応えるべき仕組みを議会内に設置するものであります。そのためには、執行部との勉強会を定期的に行う。基本的には、全議員で議論をして提案をしていこう。作業部会等も設置が必要だろう。特に喫緊の課題といたしましては、土砂の搬入や水の問題、災害に強いまちづくりについて取り組んではどうかと、このように決定をしております。

3、住民に開かれた議会活動を行う。

理由といたしまして、議会議員の活動状況、役割を住民に周知し、日出町政、地域の状況を報告、意見を聞く場を議会として開催をしていきたい。このようなことでございます。

開催するに当たりましては、テーマを設定し、住民の意見交換の場を、意見交換会を開催するということでございます。また、この場で4 定例会、臨時会の議会の報告も行っていこうと。

以上のことを、議会改革調査特別委員会の中間報告といたしました。議長のもとで皆さんの御賛同をいただき広く町民の負託に応える、応えられる議会に一步でも前進できれば幸いと考えております。なお、議長より議員定数削減の検討を改めて求められましたが、調査、検討いたしました結果、結論にいたらなかったため、今定例会の中で再び検討をすることになりました。

これで、議会閉会中の議会改革調査特別委員会第8 回、第9 回の報告といたします。

議長（佐野 故雄君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。7 番、森昭人君。

議会報編集特別委員長（森 昭人君） まず、この場をお借りしまして、会議の冒頭不備不足がありましたこと、心からお詫びを申し上げたいと思います。お断り申し上げます。

それでは、議会報編集特別委員会の報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、閉会中の10月16日、23日の2回にわたり、委員会を開催いたしまして、議会だより第90号の編集を行い、11月1日に全戸配布いたしましたところであります。

簡単ではありますが、以上で報告を終わります。

議長（佐野 故雄君） 以上で、委員長報告を終わります。

・ ・

#### 質疑・討論・採決

議長（佐野 故雄君） これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（佐野 故雄君） なければ、これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（佐野 故雄君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（佐野 故雄君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会、特別委員会における審査及び調査等の件は、委員会の報告のとおり決定しました。

・ ・

日程第6．承認第7号

日程第7．議案第68号

日程第8．議案第69号

日程第9．議案第70号

日程第10．議案第71号

日程第11．議案第72号

日程第12．議案第73号

日程第13．議案第74号

日程第14．議案第75号

日程第15．議案第76号

日程第 16 . 議案第 77 号

日程第 17 . 議案第 78 号

日程第 18 . 諮問第 2 号

日程第 19 . 同意第 5 号

提案理由の説明

議長（佐野 故雄君） 日程第 6、承認第 7 号平成 24 年度日出町一般会計補正予算（専決第 3 号）についてから日程第 19、同意第 5 号固定資産評価審査委員会委員の選任についてまでの承認 1 件、議案 11 件、諮問 1 件、同意 1 件を一括して上程し、議題とします。

提出から提案理由の説明を求めます。町長、工藤義見君。

町長（工藤 義見君） 提案理由の御説明を申し上げます。

今期定例会に御提案申し上げ、御審議いただきます承認 1 件、議案 11 件、諮問 1 件、同意 1 件につきまして、順次その概要を御説明申し上げます。

承認第 7 号平成 24 年度日出町平成 24 年度日出町一般会計補正予算（専決第 3 号）についてであります。補正を致しました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ 1,224 万 3 千円を追加し、補正後の予算の総額を歳入歳出それぞれ 97 億 8,546 万 8 千円としております。

補正をしました内容は、平成 24 年 12 月 4 日に公示されました衆議院選挙執行に係る予算であり、地方自治法第 179 条第 1 項の規定に基づき、平成 24 年 11 月 19 日付で専決処分をいたしましたので、同条第 3 項の規定により今定例会で御承認をお願いするものであります。

議案第 68 号平成 24 年度日出町一般会計補正予算（第 4 号）についてであります。補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ 9,013 万 6 千円を追加し、補正後の予算総額を 98 億 7,560 万 4 千円とするものであります。

それでは、今回措置しました歳出予算の主な内容につきまして、御説明申し上げます。

まず、総務費ではハーモニーランド駐車場用地取得事業にかかる大分銀行からの借入金利率が決定いたしましたので、利息分について計上しております。

民生費では、障がい者介護給付費、障がい児通所支援給付費などの扶助費の増加分、平成 23 年度実績に基づく国・県支出金の償還金等を追加計上しております。

衛生費では、大分県消費者行政活性化基金を活用した食の安全・安心に関する啓発事業を新規に計上しております。

農林水産業費では、「日出ハモ祭り」の開催により、内外に浸透しつつある別府湾特産日出のハモの消費量及び販路の拡大を支援するため、鮮魚さばき所設置事業費を新規に予算計上しております。

教育費では、中学校管理費で日出中学校の施設改修費を増額補正したほか、給食センター費に

おきまして、研修室等施設、機器の改修費を予算計上しております。

そのほかの歳出では、本年6月から7月にかけての九州北部豪雨により被災した農地5件、農業用施設14件の災害普及費を追加計上しております。

歳入につきましては、普通交付税を交付決定額に基づき1億6,304万5千円の増額補正をしており、今補正予算案の主要財源といたしております。

その他の歳入につきましては、国・県支出金を事業費の増減に伴い補正したほか、株式会社さとうベネック破産に伴う契約解除違約金等を計上した上、財政調整基金繰入金の減額により財源調整しております。

また、予算第2条で繰越明許費、予算第3条で債務負担行為の補正をお願いしております。

次に、議案第69号平成24年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、決算見込額により後期高齢者支援金、介護納付金、平成23年度実績に基づく返納金等の増額分を計上し、1億5,656万円を増額補正するものであります。

また、議案第70号平成24年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）につきましては、浄化センターと洲崎ポンプ場の機器補修費を計上し、790万9千円を増額補正をするものであります。

次に、議案第71号平成24年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、介護保険給付費の決算見込み額により、居宅介護サービス給付費、居宅介護サービス計画費等の不足分を追加計上し、4,954万6千円を増額補正をするものであります。

次に、議案第72号平成24年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、後期高齢者医療広域連合への納付金を追加計上し62万3千円を増額補正をするものであります。

以上、平成24年度一般会計及び各特別会計補正予算につきまして、その概要を申し上げます。

次に、議案第73号日出町プロポーザル審査委員会条例の制定についてであります。

町が発注する高度な技術や専門的な知識を必要とする業務等に係る契約の締結について、その契約候補者をプロポーザル方式により選定する際に必要な日出町プロポーザル審査委員会を設置するものであります。

次に、議案第74号日出町税条例の一部改正についてであります。

改正をします内容は、個人町民税の寄付金税額控除の対象範囲を、町内に事務所事業所を有する公益法人や団体に拡大し、これらに対する寄付金についても寄付金税額控除を受けられるようにすること。また、入湯税の課税免除対象範囲を学校教育上の見地から行われる修学旅行の団体客、日帰りより入湯するものに拡大明記し、条例整備するものであります。

次に、議案第75号証人等の実費弁償に関する条例の一部改正についてであります。

地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、証人等の実費弁償に関する条例の改正が必要となりましたので、条例整備するものであります。

次に、議案第76号日出町暴力団排除条例の一部改正についてであります。

平成24年10月31日に施行された、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部を改正する法律により、日出町暴力団排除条例の改正が必要となりましたので、条例整備するものであります。

次に、議案第77号町道の廃止について、及び議案第78号町道の認定についてであります。

町道馬場前西新開線につきましては、地元要望に伴い終点側に変更が生じたため、同路線の廃止をし、新たに町道馬場前東新開線として認定するものであります。

町道宮山谷ノ木線につきましては、防衛施設庁民生安定施設整備事業により整備しました道路を町道として認定するものであります。

同じく、町道鱒沢2号線につきましても、国道10号線拡幅工事において整備された道路を町道として認定するものであります。

以上、道路法第10条第3項及び第8条第2項の規定により議会の議決を求めるものであります。

次に、諮問第2号人権擁護委員の候補者の推薦についてであります。

現在、同委員として就任していただいております、日出町大字豊岡3462番地9荒金明氏の任期が、平成25年3月31日で満了になりますので後任者として同氏を推薦いたしたいので、人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の皆様の御意見を求めるものであります。

次に、同意第5号固定資産評価審査委員会委員の選任についてであります。

現在、同委員として就任していただいております日出町3858番地2、河野房雄氏の任期が平成25年2月24日で満了となりますが、引き続き同氏を選任いたしたいので、地方税法第423条第3項の規定により、議会に皆様の同意を求めるものであります。

以上、今期定例会にお願いしました承認1件、議案11件、諮問1件、同意1件につきまして、甚だ簡単ではありますが御説明申し上げました。何卒慎重な御審議を賜りまして御賛同くださいますようお願い申し上げます。

議長（佐野 故雄君） 町長。

町長（工藤 義見君） ちょっと曖昧な点がありましたので、ちょっと訂正をさせていただこうと思います。

先の、亘理町に対する支援物資の搬出であります、八代の皆さん方に委託して生産しましたのは2.9トン2,900キログラムであります。

そして、同時に八代の皆さん方からいただいたのは300キロですね。いずれもモチ米でありまして、合わせて3.2トンのモチ米ということで、米と言ったり、ちょっと明白に八代の皆さん方の役割を私が明確に答えておりませんので、ここにお詫びして訂正させていただきたいと、以上でございます。

議長（佐野 故雄君） 提案理由の説明が終わりました。

#### 散会の宣告

議長（佐野 故雄君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（佐野 故雄君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定しました。

これで散会します。御苦労様でした。

午前11時24分散会